

令和5年度 学校運営等に関する評価書

学校名	和歌山市立四箇郷小学校
提出締切	令和6年3月8日

1 教育目標

心身ともにたくましく、豊かな人間性を身につけ、自ら学ぶ子供を育てる

2 学校自己評価についてのご意見

	地域とともにある学校	豊かな心	確かな学力	健やかな体と安全の確保
指標	学校評価アンケート項目「学校は、学校の教育活動や子供の様子を保護者にわかりやすく伝えている」において、『思う方』の回答が75%を超える。	・図書室への総入室者数⇒前年度を維持 ・保護者アンケートで学校教育・生活でのルールやマナー、モラルに関する設問にて、前年度より「わからない」という回答を減らす。	県学習到達度調査の結果が県の平均を上回る。	学校評価アンケート項目「学校は、子供の安全確保・健康管理のための取組を十分行っている」において『思う方』の回答が85%を超える。
意見重点目標に対する	○ようやくホームページのアップ頻度が増えてきたが、定着していない為周知できていない。 ○学校環境が潤ってきたと思う。 ○HPはよく更新されていて、学校だよりも見やすいので、地域の方にも見てもらえるようにPRしてはどうか。 ○学校だより、しかごだよりなど、子供の元気な姿や学校の様子を発信していて、地域の方々にも届けられている。 ○HPの更新が増えたことがうれしい。	○学校司書の配置は影響が大きい。引き続き、教育委員会に要望ください。 ○豊かな体験活動に、ボランティア活動など自主的な活動を取り入れ、共に支え合い、交流する地域社会づくりに繋がる事を、子供のうちに体験して欲しい。 ○充実した時間があれば、自分を好きになれる。 ○児童に図書購入希望や図書室利用についてのアンケートを取り、向上につなげては。 ○読書をする事で視野を広めること。 ○明るく大きな声でのあいさつ運動を進める。	○勉強を学ぶ意識向上に繋がっている。 ○子供達の話合いの場を増やす事で、異論を知り、異議を表す、自主性や協調性など児童のさまざまな能力が身につけていた。 ○考える場(機会)が増えていた。 ○県平均より下の科目もあったが、指導方法について先生方が工夫して下さっている。 ○授業参観では子供達の主体的な話合いが見受けられた。自ら学ぶ子供が育っていると感じる。 ○教科等別研修会で授業提案を行い、確かな学力、授業力の向上に努めている。 ○学年関係なしですべての学年がコミュニケーションをとれる体制づくりをする。	○教職員間で、警報時、集中豪雨時などの対策や連携が出来ていなかった。 ○能登半島地震もあったので、避難訓練や災害が起こったときにどう行動するかを教室で話し合っておく必要がある。 ○暑い日も寒い日も子供達は運動場で活発に運動している。励まし合う声も聞かれ、子供達の成長を感じる。 ○安全確保のため、コロナや熱中症への対策を十分に行ってもらいたい。
意見取組状況に対する	○学校だよりでは、校長の思いや願いを、ホームページでは、学校の様子を、しかごだよりでは、保護者の取組や活動を、それぞれの視点から発信してきたと思う。 ○地域交流では、育生会担当で以前までの内容を変えながら4年ぶりに四箇郷小学校でお食事会を実施できた。 ○保護者、教職員へ、ボランティアを募り、大勢の方々と共に『しかご緑日』を開催することができ、笑顔がたくさん見ることができた。 ○今年はコロナも5類に移行し、四箇郷小祭りも開催でき、育生会の出店もあり、大変盛り上がり、地域との交流ができていた。 ○地域の方々との交流を深める活動を行う。 ○学校だよりでの校長先生の思いや願いなど一つ一つ言葉を選び、保護者に寄り添っている文面が印象的でした。	○学校司書の配置により利便性を高められたと思う。 ○授業の質は全体的に高まったと感じる。又、整理整頓ができ、服装の乱れも目立たず、心の乱れを整える事が出来ている様に感じる。 ○教員自身の抱える問題が多く見られた。 ○体験活動を増やし、豊かな心を育てて成長していると感じた。 ○授業参観や保護者と一緒に参加できる行事を増やし、子供達の学校での様子を理解してもらっては。 ○ボランティアに関する活動を行う。	○授業では、問題の答えを文章で答える取組が見られた。 ○習熟度別少人数学習は、子供達自身が必要性を評価し取り組んでいた。 ○基礎学力を伸ばすための放課後フォローアップや算数の授業が楽しくなるような取組をおこなってくれている。 ○学力調査の結果が県平均を上回ることを課題として、放課後等少ない時間を利用して全教職員で、個別指導を行い、基礎学力の向上に努めている。 ○放課後フォローアップを3年生まで広げていることがありがたい。	○夏季対策はとても良い。 ○避難訓練に加え集中豪雨時の危険箇所の把握は、四箇郷地区は必ず必要。 ○「みんな遊び」、部屋つ子を外に連れ出す事が出来、健全育成に繋がっている。 ○四箇郷地区は、見守り隊の方が子供達の登下校に居てくれるので助かります。 ○休憩時間は、教員も子供達と所狭しと一緒にご遊んでいる姿が見られる。 ○年に3回の避難訓練を今後も行う。 ○ミストシャワーがあり、子供は嬉しそうに家でも話しています。
す取組の意見適切さの検証結果に対する	○それぞれの立場で様々な視点から、四箇郷の子供達を取り巻く環境を伝えることができ、保護者の感心を高められた。発信の仕方を工夫するだけで、まったく違う成果が得れると思う。 ○コロナ感染への危機感減退した。 ○『四箇郷の子供達の笑顔をもっと見たい』と言う個人の想いから企画した呼びかけに、子供から大人まで、たくさんの方が共感協力してくれた。感謝。 ○いろいろな行事を開催でき、地域との交流ができていた。 ○OPTA主催の行事やしかごまつりなど、子供達が元気に楽しく過ごせるように努めている。 ○地域の方々との交流する機会を増やす。 ○月初や行事ごとにHPを更新してくれているのがうれしい。	○図書室へ出せていない本が山積みだったが、選択、提供ができたと思う。 ○図書室の利便性が改善された。 ○様々な体験、経験が増え、仲間意識の向上、自主性を高められたと思う。 ○挨拶のできる子が少ないと感じるので、自分から挨拶のできる指導を行ってほしい。 ○あいさつのできない子が多いので、朝、校門で「おはようございます」と声を掛け合うことはとてもいいことだと思います。	○記述式の強化には、やはり読書や感想文、作文、速読が有効かと思うが、取組は全クラス統一し出来ているのか？低学年から記述に慣れるように、1文でも良いと思う。又、子供同士で評価したり、読み合ったりすれば、担任の負担も減る。 ○新入教員の成長が大きな成果と感じた。管理職や指導員、学年担任は、近況を学年だよりやホームページなどにアップし、保護者の固定概念を覆すフォローが必要。 ○何事にも基礎が大切だと思うので、今後も基礎学習の時間を大切にしたい。 ○学年や教科によってICTを上手に取り入れている。 ○算数の習熟度別少人数学習で、単元ごとに自らがコース選択できるようになったことは、とてもいいことだと思います。	○6月2日のゲリラ豪雨時は、管理職と教職員の連携が図られておらず、指示がバラバラで混乱した。災害時に必要とされる、人々の助け合いが薄かったように思う。 ○感染対策は継続する必要がある。 ○子供の安全を守るため、地域の方々を立てておられる。 ○ミストシャワーがあるので、子供達も安心して遊べている様である。 ○警報が出た時の対策について今後も十分に注意すること。
改善年度法にに向けての意見	○学校だより、ホームページ、しかごだよりより、学校の様子や思い、育生会活動、地域交流を幅広く発信する事の継続と、ホームページの更新を定着させ周知させる。 ○保護者の感心を高め、学校評価につながるように、ホームページや学級だよりでは、教職員の取組や教職員と子ども達の様子を発信する。 ○育生会は、次年度も『子供も大人もいっしょに楽しむ』をコンセプトに、学校、保護者、地域と共有し、共感できる取組を行っている。 ○学校行事に地域団体が参加できるような内容を増やしてほしい。 ○学校・担任・保護者との関係を深め、人間関係をより構築してほしい。 ○HPの更新やぐるりんメールの活用など、積極的に情報発信してくれることを期待しています。	○学校司書館の利用指導計画を立案し運営、活用の中心的役割を求め。 ○新しい本や人気本の紹介をかねて、読み聞かせを、給食中に実施し子供も大人も豊かな心を育む。読み手は、学校司書や教職員、又、保護者から募ればよい。 ○子供達は、社会や環境への関心が高い。SDGsへの取組や社会貢献など体験の機会を設ける。協力し合う事や達成感を得て、自主的な判断力や行動力に繋がると、他人を想える人にも育つと考える。 ○道徳の公開授業と研修や実践から学べる環境を引き続き整えていく。 ○授業参観で道徳の授業を行い、保護者の方にも道徳に関心を持ってもらう。 ○子供自身が生活の仕方・生き方について、より豊かになったと感じられる学習活動 ○図書室に週2、3回行き、本を読むことを勧めて欲しい。 ○おすすめの図書を紹介する活動を各クラスで取り組み、教室にはたくさんの方が並んでいました。今後も継続をお願いします。	○次年度から取り扱う教科書や和歌山市が取り組む教育に、ICT化が大きく進む。教職員は、情報通信技術を活用しながら授業を円滑に展開する指導力が必要になる。その為、研修や実践会を設けてほしい。 ○引き続き、習熟度別少人数学習の継続 ○記述を楽しむ取組を考え実行する。 ○国語・算数の授業について、先生方がいろいろ努力していただいているが、県平均以上になるよう頑張してほしい。 ○低中学年からの基礎学力の定着 ○指導力の向上は子供達の向上にもつながるので今後も継続してほしい。	○みんな遊び、夏季の熱中症対策の継続 ○子供の水筒に水を補充する手立てを考案し実行したい。 ○引き続き、LDEに変え、学校を明るくしていくべき。 ○保護者や地域の防災力を向上する事、共通理解を深め意識をもつ事を目的に防災訓練を実施する。 ○学校の周りには大雨の際、道路が冠水するので、安全に下校できるよう地域の方と連携し子供の安全を確保してほしい。 ○夏季期間のリュックでの登校を今年としてはどうか。 ○熱中症対策について、水筒への水の補充には様々な意見があり、難しい問題ですが、子供達が飲むものがないという状況にならないことを願います。

3 その他のご意見

- 土曜日の子どもセンター事業は、教職員だけでは活性化は難しい。活性化している校は、保護者や地域の方が主に動いている。
- 保護者からの欠席メールは賛成だが、欠席メールのみの活用方法に特化すべき。
- 120周年記念を、四箇郷小学校に関わる者が1つとなり取り組めるよう、実現、成功させたい。
- 新型コロナウイルス及びインフルエンザは冬場だけでなく、一年中感染します。熱中症も含め、対策を十分をお願いします。